

News Letter



医療法人恭青会 理事長
いくの眼科 院長

生野 恭司

新年のご挨拶



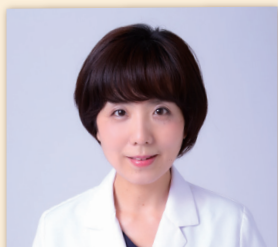
みなさま新年あけましておめでとうございます。

昨年は2月のロシアによるウクライナ侵攻に始まりました。また、資源高による世界的なインフレから急速な円安になりました。デフレに苦しむ日本でしたが、物価の反転上昇が始まり、食品・エネルギー価格ともにじりじりと値を上げ続けています。低賃金も明るい兆しが見えず、経済的、財政的に非常に苦しい1年でした。当面続きそうな米中不和や分断も、より一層拍車をかけています。一方で、少しですが明るい話題もありました。コロナウイルス感染症の勢いも少しずつ収まる傾向が見えて、国際交流が再開されてきた事です。コンサートや学会も制限が解除され、行動制限が緩和されました。かつての日常に一步近づき、街を歩く人も増え、賑わいが戻ってきたような気がします。

そのような中、恭青会にとっては3年続いたコロナ禍から立ち直り、今後の新しい5年を目指す礎を作る年となりました。去年1月には丸岡副院長が入職し、前眼部と白内障の診療体制の強化が行われました。

手が回らなかった領域の専門家を迎えることができたのは今後の受け入れ態勢を充実させる上で大きな成長でした。十三本院も回復し、一昨年リニューアルした武庫之荘院も安定してきました。また医師が大家院長、丸岡副院長とともに3名体制となったことで、業務的にも心理的にも非常に心強くなりました。組織を支えるのはお金ではなく人です。お金は1日あれば準備できますが、人はそうはいきません。当院は優秀なスタッフが自慢でしたが、医師も人材を整えることができたことは今後の運営に非常にプラスになると思います。

さて、今年は一体どんな年になるのでしょうか。それこそ先の見えない霧の中を航海しているようです。コロナ対策での予想外に大きな出費もあり、医療原資はますますジリ貧になることは間違いないでしょう。先のことを考えすぎても、不安になるだけで心理的に不健康です。まっすぐ先をみて、何が大切かを考えながら一步一步、歩んでいきたいと思います。眼科を大きくすることも大切ですが、それが私の人生の目的ではありません。苦しいことも嬉しいことも、そこに至るプロセスを楽しみたいと思っています。予測不能な世の中をどう楽しみ、生き抜いていくのか。そのプロセスを皆さんと共有できれば幸いです。



いくの眼科 武庫之荘院 院長

大家 典子

武庫之荘院をリニューアルオープンして1年半が経ちました

寒さ厳しい季節となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

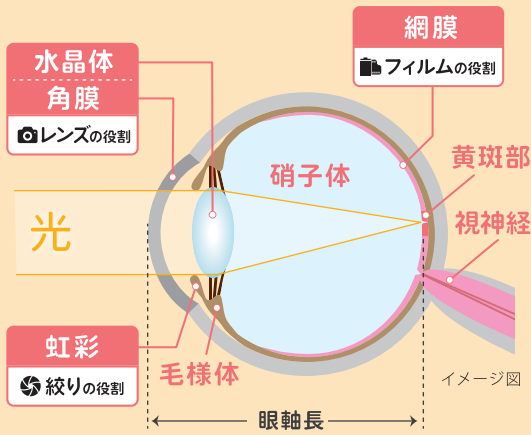
いくの眼科武庫之荘院は令和3年6月のリニューアルオープンから1年半を迎えました。無事に1年半を迎えることができましたのも、ひとえにいくの眼科武庫之荘院に来院していただいた皆様、当院を支えてくれるスタッフ、当院にかかわっていただいているすべての方々のおかげと心より感謝しております。誠にありがとうございます。

リニューアルオープンから令和4年10月末までの期間に2540人の患者さんにご来院いただき、日帰り白内障手術は141件行われました。皆様の眼の健康を保つお手伝いができますことをとてもうれしく思っています。これからも初心を忘れずに、皆様に信頼していただける眼科、目のお困りごとをお気軽にご相談いただける身近なかかりつけ眼科となれますよう、スタッフ一同精進してまいります。今後ともいくの眼科武庫之荘院をどうぞよろしくお願いたします。

目の構造と役割

人の目はカメラによく似ている!?

目は平均、約24mm程度の小さな臓器です。たくさんの部品からカメラがなるように、目も非常に精密で複雑な構造となっています。



水晶体・角膜

水晶体と角膜はカメラでいうと「レンズ」の部分。光の屈折を調節して、網膜に映し出すという大切な役割を持っています。

網膜

網膜はカメラでいうと「フィルム」にあたり、光を感じ取り映像に変えます。

虹彩

虹彩の働きはカメラの「絞り」と同じように、目の中に入る光量を調節しています。

毛様体

毛様体の伸縮により水晶体の厚さを变化させ、遠近調節をしています。

黄斑部

網膜のほぼ真ん中にあり、物を見る上で、とても大切な場所です。

硝子体

眼球の大部分を占める透明なゼリー状のもの。眼球の形と弾性を維持しています。

視神経

網膜に映った情報を脳に伝えています。

- 症状から考えられる目の病気について -

症状 01



眼がかゆい・異物感がある・目やにがでる

結膜炎や角膜びらんなど目の表面の病気が考えられます。目の表面はとてもデリケートで、少しでも傷があると症状が出ます。かゆいときはアレルギーが最も考えられます。異物感があるときは表面の傷が考えられますが、コロコロする異物感を感じる程度から、痛みを伴うものまで症状には幅があります。一番問題になるのは、傷から細菌などが入り、感染を生じた場合です。この場合は強い異物感と痛みを伴う場合が多く、放置すると重い後遺症が残ったりします。また痛みが強い場合は、角膜ヘルペスが考えられますので、早急な眼科受診が望ましいでしょう。

症状 02



眼がかすむ・全体が白く見える

視野全体がかすむ場合は白内障が最も考えられる病気です。白内障は濁り方や程度により様々な症状が現れる病気です。霞みだけでなく、まぶしい、ダブって見える、暗いなど患者さんによって訴える内容が異なります。ダブって見える場合は乱視と勘違いされていることも多く、注意が必要です。

症状 03



視野がかける

網膜の一部が機能していないことが考えられます。最も考えられるのは緑内障で、そのほかには網膜剥離や脳神経疾患が考えられます。マリOTT盲点といって、正常人でも視野の一部は欠けているのですが、病気と正常の区別はなかなか困難です。いずれにせよ重症の病気が多く、早めに眼科を受診されることをお勧めします。

症状 04



歪んで見える

PCの罫線や碁盤の目のような凶形を見ると歪んで見えることがあります。これは網膜の中心である黄斑部に変形などが生じて起こります。黄斑前膜、黄斑円孔、加齢黄斑変性など特に高齢になるにつれて病気になることが多い場所です。黄斑部が侵されると強い後遺症が残ることが多いため、この場合も早めに眼科受診が必要でしょう。

※あくまで「あたりをつける」程度ですので、正確な診断や症状が重い場合はすぐに眼科専門医を受診されることをお勧めします。

SNS
更新中



院内の活動などについて掲載しています。
@kyoseikai.eye.doctorで検索、フォローお願いします！



院内の活動や目の病気などについて掲載しています。
@kyoseikaiで検索、フォローお願いします！

LINE 公式アカウント

QRコードからお友達登録をお願いします

いくの眼科
十三本院



いくの眼科
武庫之荘院



医療法人恭青会
<https://kyoseikai.com/>



いくの眼科 十三本院と武庫之荘院と管理部の3拠点から構成されています。



いくの眼科
<https://kyoseikai.com/ikuno-eye/>
TEL.06-6309-4930



いくの眼科 武庫之荘院
<https://kyoseikai.com/mukonosou/>
TEL.06-6423-8871